

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

平成29年 4 月 1日から

平成30年 3 月31日まで

公益財団法人 科学技術広報財団

平成29年度事業報告

はじめに

公益財団法人科学技術広報財団（以下「財団」という）は、広く社会に対する科学技術の広報啓発と科学技術振興への寄与という使命及び社会的意義を認識し、その目的を達すべく中長期的な視野で事業を展開している。

また、財団運営においては、平成28年度にマイナンバー制度が施行されるなど定款及び各規程に基づく透明性と社会的なコンプライアンスの遵守が求められている。

平成29年度事業は、科学技術への関心や興味喚起及び科学知識の理解増進、科学技術に関する情報発信、科学知識普及、人材育成、広範な科学技術に関心と理解を深める広報活動に関する事業等を実施したが、収支は厳しい結果となった。

平成29年度に実施した事業は以下の通りである。

I. 全体運営

(1) 理事会の開催

- ・平成29年6月7日（水） 第14回理事会
 - ① 平成28年度事業報告書及び平成28年度決算報告書を承認した。
 - ② 第6回評議員会の招集について承認した。
 - ③ 理事長及び常務理事より職務執行状況を報告した。
- ・平成30年3月1日（木） 第15回理事会
 - ① 平成30年度事業計画書及び平成30年度収支予算書を承認した。
 - ② 常務理事と事務局長を中村理事から熊澤理事に変更することを承認した。
 - ③ 理事長、専務理事及び常務理事より職務執行状況を報告した。
 - ④ 担当理事より各科学館の運営状況等を報告した。

(2) 評議員会の開催

- ・平成29年6月22日（木） 第6回評議員会
 - ① 議事録署名人を選出した。
 - ② 平成28年度事業報告書及び平成28年度決算報告書を承認した。
 - ③ 評議員2名の退任・2名の選任を承認した。

(3) 役員・評議員及び職員の状況

① 役員 の 現 状 (平成30年3月31日現在)

役職	定数 (人)	現員 (人)
理事長	1人	1人
専務理事	1人	1人
常務理事	2人以内	1人
理事	5人以上12人以内	12人 (非常勤8人・常勤4人) うち理事長1名、専務理事1名、 常務理事1名
監事	3人以内	2人

② 評議員 の 現 状 (平成30年3月31日現在)

定数	現員 (人)
5人以上12人以内	6人

③ 職員 の 現 状 (平成30年3月31日現在)

区分	職員数 (人)
本部事務局	4人
新潟県立自然科学館	13人
神戸市立青少年科学館	4人
ふなばし三番瀬環境学習館	9人
計	30人

④ 評議員 の 異 動

退 任		就 任	
退任日	氏 名	就任日	氏名
平成 29 年 6 月 22 日	田中 敏	平成 29 年 6 月 22 日	坪井 裕
平成 29 年 6 月 22 日	小島 一彦	平成 29 年 6 月 22 日	中原 徹
平成 29 年 12 月 31 日	坪井 裕		
平成 30 年 3 月 31 日	大河内 眞		

(4) 広報活動

最新の科学及び技術に関するトピックスを提供するほか、科学技術に関わる法人・団体とのネットワークを充実させることにより、ホームページ及びWEBを通じた財団広報活動の活性化を図った。

財団の概要及び事業内容を紹介するパンフレットを作成した。

II. 事業

1. 科学技術の広報に関する調査研究及び刊行物等の編集及び頒布

(1) 科学ポスターの企画・作成及び提供

最新の科学研究成果への興味喚起及び知識の理解増進を目的として、科学ポスター「単位」を東京大学早野教授総合監修、大日本図書（株）協力のもと制作し頒布を開始した。

IT販売窓口の拡充を図るため、Amazonへの出店を継続するとともに新たに、Yahoo!shoppingへ出店した。また、書店、科学館及び大学生協などの販売機関に対し、最新の商品情報（パンフレット）の提供を行うとともに教材カタログに掲載するなど販売の拡大に努めた。

① 売上件数 : 4,395件

② 売上総枚数 : 49,500枚

③ 取扱店舗数 : 科学館・博物館等ミュージアムショップ : 25店舗、書店 : 12店舗、大学生協 : 23店舗、WEB : 4店舗、教材卸 : 6店舗、その他 : 2店舗

計72店舗（平成30年3月31日現在）

(2) 科学グッズの企画・開発及び提供

販売促進を図るため、「元素周期表」「単位」のクリアホルダーを制作し頒布を開始した。

理化学研究所が創立百周年及び113番元素の発見を記念して製作したグッズ(手ぬぐいなど)を販売した。

2. 科学技術に関する広報啓発並びに人材の育成

2-1. 科学館の運営及び運営支援

(1) 新潟県立自然科学館の指定管理者（民間事業者との共同事業で期間は平成27年4月から平成32年3月まで5年間）として、管理運営業務及び科学教育普及事業を実施した。

平成29年度来館者実績 : 230,598人

(2) 神戸市立青少年科学館の指定管理者へ民間事業者と共同で応募し引き続き選定された。期間は平成30年4月1日～平成35年3月31日の5年間。

平成29年度来館者実績：389,330人

平成26年度～平成29年度（4年間）来館者実績：1,490,821人

(3) ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館の指定管理者（公益財団法人との共同事業で期間は平成29年4月1日～平成34年3月31日の5年間）として、平成29年7月より事業を開始した。

平成29年度来館者実績：45,248人

2-2. 展示・映像コンテンツの企画・開発及び提供

(1) 展示コンテンツの開発

- ① 神戸市立青少年科学館向け秋冬オリジナルプラネタリウム番組として「ムーングャーニー」を制作し上映した。
- ② 神戸市立青少年科学館向け子供向けオリジナルプラネタリウム番組として「ほしぞらパーティー」を制作し、上映した。
- ③ 神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組企画として「Feel the universe～私の瞳に映る宇宙～」、子供向け番組として「ボーケンくんのはるかなたび」を制作した。4月からの上映を予定。

(2) 展示・映像コンテンツの提供

- ① 昨年度神戸市立青少年科学館向けオリジナルプラネタリウム番組として制作、上映した「星の恋人～ほしこい君と夜空の記憶～」が新潟県立自然科学館で上映を開始した。
- ② 公益財団法人日本財団の平成27年度助成事業で制作した映像企画「クジラが星に還る海～STARS OF LIFE～」が以下の科学館・プラネタリウムにて上映された。

神戸市立青少年科学館、千葉市科学館、伊那文化会館

(3) 展示コンテンツの巡回

① 「深海回転寿司」の巡回

財団所有展示コンテンツ「深海回転寿司」の貸し出しを以下の科学館に行った。

千葉市科学館、姫路科学館

② 「こわいものめぐり展」の巡回プロモート

財団所有展示コンテンツ「こわいものめぐり展」のプロモートを行い、以下の科学館等で検討中。

群馬こどもの国、愛媛県立総合科学博物館

3. 科学技術普及・利用に係る広報・支援及び施設・展示の企画・立案

(1) 科学技術関連団体の広報活動支援

日本科学オリンピック推進委員会が開催する各種国際科学オリンピックのうち、情報及び地学の日本委員会事務局への支援業務を継続して実施した。

(2) 団体・企業の広報活動支援（収益事業）

団体・企業からの依頼により、団体・企業の持つ科学技術の普及と利用促進を目的とした広報活動への支援を実施した。

以上